

# 県内初の司法書士法人

飯島さん設立「若い人の受け皿にも」

## 共同業務でリスク軽減

司法書士・飯島英規さん(44)は、桐生市川内町二丁目には、自らがつくる司法書士事務所「リーガル・パートナー」を群馬県内で初めて法人化した。代表司法書士となった飯島さんは「クライアントに対するサービス継続の責任を果たすこと。」

また、若い司法書士の受け皿という目的を持って、飯島さんは「多くの司法書士は個人で事務所を構えて仕事をしている。私は二人で太田市に事務所を立ち上げましたが、質の高い多様なサービスを安定的に提供するため個人では、もし何かあった場合、クライアントへのサービスが滞ってしまう」という趣



「法人化すれば、共同で仕事を回避できる」と話し、10月中旬に桐生オフィスを開設。同時に法人化した。今後、高崎市にもオフィスを開設する予定だ。

が受けられ、そのリスクを回避できる」と話し、10月中旬に桐生オフィスを開設。同時に法人化した。今後、高崎市にもオフィスを開設する予定だ。

また、今回の法人化には、試験に合格したばかりの司法書士の受け皿となる目的もある。桐生オフィスで働きながら、合格を目指す副田朋子さん(写真④、桐生オフィス)は、試験に合格したばかりの司法書士の仕事もバリエーションが増えています。さまざまな問題、仕事に対応していくためにも法人化はメリットがあると思う。

飯島さんは「司法書士の仕事もバリエーションが増えています。さまざまな問題、仕事に対応していくためにも法人化はメリットがあると思う。」

県内で初めて司法書士法人を設立した飯島さん(写真⑤、桐生オフィス)は、今後仲間を増やし、プロジェクトが組めるような体制までもっていきたい」と力を込める。